

2015年度事業報告書

特定非営利活動法人ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト
理事長 酒井和枝

1. 概要

本年度より植林中心の活動から、本格的に、過去の植林地の維持や先住民の所有する森林での、果樹栽培、沈香の植林等のアグロフォレストリーを行い、コミュニティー・フォレストリーの実践の基盤作りを中心に行いました。例年より、乾季が2ヶ月も長かったり、雨期の降雨量が多かったりなどの気象的な原因で日程変更を余儀なくされましたが、サラワク州森林局や先住民の臨機応変な協力により、年間の新規植林規模は、昨年同様20haを達成できました。既植林地での効率的な維持活動を進めて、より良い生育環境の整備を行いました。

2. 作業の詳細

1) サラワク州森林局担当者との年度計画の打ち合わせ

日時・場所： 2015年4月10日 サラワク州森林局植林部会議室
出席者： Mr. Wong Siong Kuan (サラワク州森林局植林部部長),
Mr BIHA(サラワク州森林局植林部課長)
Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長) 延べ5名
内容： 新任の植林部部長の Mr. Wong 氏も含め、植林活動の体制と、
サラワク州森林局の協力内容の確認、活動の問題点や課題に関する打ち合わせ。

2) サバル森林保護地区近隣の先住民との打ち合わせ

日時・場所： 2014年4月12日 サバル森林保護地区内事務所にて。
出席者： Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)
Mr. Ekin Empati 他村人15名 延べ18名
内容： 年間計画における植林の日程や人員動員に関する打ち合わせ。効率の良い時期の設定、先住民の農耕作業との兼ね合いができる日程等の打ち合わせ。
コミュニティー・フォレストリー実践における方針の打合せ。

3) サバル森林保護地区の既植林地の第1回植林活動

既植林地の成長率の良く無い場所や、問題の箇所を特定をし、今年度の植林地域の優先順位を決めた。

- ・日時、場所 2015年5月15日～5月24日 サバル森林保護地区
植林苗木 800本 (2ha)
樹種：*Shorea Macrophylla*, *Dryobalanops Beccarii*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)
先住民10名 他

4) 第7回定時総会を開きました。

・日時、場所 2015年6月4日～6月8日 クチン現地事務所会議室にて
日本から昌子理事、酒井、鍋島、アレックス、エダ、その他8名の委任状にて総会成立する。

5) サバル森林保護地区のNPO年間20ヘクタールの内の第2回植林活動を行いました。

維持活動は、主に、緩効性肥料を利用し、また、下枝落しを中心に行いました。

- ・日時、場所 2015年5月11日～6月20日 サバル森林保護地区
植替え用の植林苗木 800本 (2.0ha)
樹種: *Shorea Macrophylla* *Dryobalanops Beccarii*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)
先住民族 10名

6) 立教大学観光学部植林(1.0ha) & サバル森林保護地区年間20ha植林の第2回植林(3ha)

7月20-31日10名に行いました。植林面積合計4.0ヘクタール。

同時に今回で6回目となる立教大学観光学部の植林を行いました。

過去同様に苗運びから穴掘り、

植込み、肥料頒布、一式を行う植林で、学生と先住民の人々との交流がおこなわれました。

- ・日時、場所 2015年7月20日～8月7日 サバル森林保護地区
1600本 (4ha)
樹種: *Shorea Macrophylla* *Dryobalanops Beccarii*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)
先住民 10名 他

7) 大分県みどりの大地による植林活動をサンパデイ森林保護区にて行いました。

日時、場所 2015年8月17日～8月22日 サンパデイ森林保護地区

植替え用の植林苗木 400本 (1.0ha)

樹種: *Shorea Macrophylla* *Dryobalanops Beccarii*

- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)
先住民族 10名

8) コミュニティ・フォレストリー 果樹や沈香の苗木の植林

日時、場所 2015年8月10日～9月12日 サバル森林保護地区近隣の3村にて。

Sabal Aping村 / Sabal Kruin Lama村

Sabal Kruin baru村 /

1,200本

樹種：ゴム、他果樹（800本）

沈香（400本）

・従事者 Mr. Jonathan Lat（サラワク州森林局植林部）

酒井和枝（NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

鍋嶋誠一郎（NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）

先住民30名 他

9) サバル森林保護地区での苗作りと苗育成作業（4～9月を通し）

サバル森林保護地区、森林局事務所の苗畑センターでの苗作りと苗の育成を定期的に先住民の人々に手伝ってもらっています。週に1回、植林に関わる人々から数人ずつで、苗畑センターにてポット苗作り、水掛け、肥料やり等の作業をします。苗木も出来るだけ沢山の種類を育てる事が出来る様にしています。

・日時、場所 2015年4月～9月 サバル森林保護地区の事務所の苗畑センター

・従事者 Mr. Jonathan Lat（サラワク州森林局植林部）

酒井和枝（NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

鍋嶋誠一郎（NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）

先住民10名

10) サバル森林保護地にて維持活動。

サバル森林保護地区内の2000年度～2006年度の植林地（8.0ha）の維持活動を行いました。枯れた苗木の植替え、及び、緩効性肥料頒布を中心に行いました。また、3m以上の木は枝打ち作業を行いました。

・日時、場所 2015年9月14日～9月21日 サバル森林保護地区

・従事者 Mr. Jonathan Lat（サラワク州森林局植林部）

鍋嶋誠一郎（NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）

先住民10名

11) N. GKS 澤井隊の植林 サバル森林保護地区年間20ha植林の第2回植林（2ha）

今回で8回目となるN. GKS 澤井隊の植林は、平成26年度7月に続き、近隣の約20名の小学生を招待し、植林活動を行いました。

・日時、場所 2015年10月19日～10月31日 サバル森林保護地区

800本（2.0ha）

樹種：*Shorea Macrophylla*

・従事者 Mr. Jonathan Lat（サラワク州森林局植林部）

酒井和枝（NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

鍋嶋誠一郎（NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）

先住民10名 テラグス小学校の5～6年生の20名と引率教員

12) コミュニティ・フォレストリー ゴムや沈香の苗木の維持活動

日時、場所 2015年10月28日 サバル森林保護地区近隣の村にて(2家族)。

Mr. Nyandang Wensday - 沈香 200本

Mr. Juan Jimbai - ゴム 200本

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

13) サンパディ森林保護地区にて維持活動

既植林地にて、維持活動を行いました。

日時、場所 2015年11月23日~27日 サンパディ森林保護地区にて。

Mr. Nyandang Wensday - 沈香 200本

Mr. Juan Jimbai - ゴム 200本

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

14) サバル森林保護地区年間20ha、及び、維持活動。

新規植林の1600本の植林を行いました。

・日時、場所 2015年12月2日~12月16日 サバル森林保護地区
1600本(4.0ha)

樹種: *Shorea Macrophylla* と *Dryobalanops Beccarii*

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

先住民族 10名

15) サバル森林保護地区年間20ha 及び 維持活動。

新規植林の800本の植林を行いました。維持活動は、枯れた苗木の植替え、及び、緩効性肥料頒布を中心に行いました。また、3m以上の木は枝打ち作業を行いました。

・日時、場所 2016年2月15日~2月25日 サバル森林保護地区
800本(2.0ha)

樹種: *Shorea Macrophylla* と *Dryobalanops Beccarii*

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

先住民族 10名

16) サバル森林保護地区年間 20ha 及び 維持活動。

新規植林の 1600 本の植林を行いました。維持活動は、枯れた苗木の植替え、及び、緩効性肥料頒布を中心に行いました。

- ・日時、場所 2016 年 3 月 10 日～3 月 22 日 サバル森林保護地区
1600 本 (4.0 ha)

樹種 : *Shorea Macrophylla* と *Dryobalanops Beccarii*

- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)
先住民族 10 名
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)
先住民 30 名 他

17) サバル森林保護地区での苗作りと苗育成作業 (10~3 月を通し)

サバル森林保護地区、森林局事務所の苗畑センターでの苗作りと苗の育成を定期的に先住民の人々に手伝ってもらっています。週に 1 回、植林に関わる人々から数人ずつで、苗畑センターにてポット苗作り、水掛け、肥料やり等の作業をします。苗木も出来るだけ沢山の種類を育てる事が出来る様にしています。

- ・日時、場所 2015 年 10 月~2015 年 3 月 サバル森林保護地区の事務所の苗畑センター
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)
先住民 10 名

以上